人材開発課
報告責任者　清田　英二郎

令和7年度学校評価
人材開発課総括

	点検・評価項目	自己評価 優→3 可→2 不可→1	自己点検・自己評価項目総括
初任者研修業務	①新任教員の木更津総合高校での教育活動が円滑に進むよう、多くの先生方のご経験、お力をお借りしながら、講話・ディスカッション・研修を企画・実施してゆく。	3	年間での研修計画を作成し、それに基づいた計画的な研修を実施できている。また定期試験や前期入学試験など本校特有の業務に際して、新任の先生方が滞りなく業務を遂行できるように事前にミーティングを行い、そのサポートをすることができた。さらに今年度は5月に五島先生をお迎えして講演を実施していただくなど、初任者だけでなく多くの先生方にとって有意義な研修を実施することができた。
	②新任教員が教員としてのキャリア形成を本校で継続的に進めてゆけるよう、折に触れて相談相手・支援者の役割を果たす。	3	今年度は各ハウスに１人以上の人材開発課員が配属されたことにより、初任者や初担任などの若手の先生方の相談窓口としての役割を明確化させることができた。特に新担任となった教員の中で生徒指導や教員関係・保護者対応などに関して不安や悩みを抱える先生が多かったので、それらの先生方に対して個別に対応することで不安を解消する手助けができたのと同時に、当初の目的である相談機関として機能することが出来た。
	③ 新任教員以外の先生方にも多くの学びの機会・情報を提供してゆく。	2	外部講師研修に関しては、本校で導入している動画研修サイトのアクティブラーナーにて研修動画を配信されている小林昭文先生をお迎えして実施した。それにより、研修実施前に小林先生の配信動画を利用を促すことで、研修時には講義よりも質疑応答を中心とした新しい形での研修を実施することができた。また、研修後においても共有のリフレクションシートを利用し、一方通行ではない幅の広い研修を実施することができた。しかしながら、やはり全体研修の実施時期に関しては、後期中間テスト中の多忙な時期でもあったため先生方には多くの負担をかけることになってしまったので、より有効な日程の検討が必要である。また、アクティブラーナーに関しても、研修に使用することでその認知度が上がることを期待したが、結果的には昨年と同様使用率は低いままであったので、少しでも多くの先生方に利用してもらえるように取り組む必要がある。
	④ 人材開発課教員自身が、それぞれの持ち場で全力を尽くす。	2	課員は全員担任業務をもちながらも、それぞれの適性を生かした研修なども実施するなど、各教員は与えられた役割を着実にこなしている。今後はより積極的な声掛けや活動も期待したい。